

似たものどうしの「ちょうちょ」たち

「春分」からひと月が過ぎ、暦の上（二十四節季）では「立夏」まであと10日ほどとなりました。いよいよ春も終わりです。今年は実際の季節の移りも速く、20℃を超える初夏のような陽気となる日もあり、昆虫たちの出足も早い感じがします。空堀川と学校で4種類のチョウに出会いました。ナミアゲハ（アゲハ）と黒色のクロアゲハ、そして、羽に紋模様があるモンシロチョウと黄色のモンキチョウです。

●黄色と黒のアゲハチョウ チョウ目アゲハチョウ科

クロアゲハ R3,4,24 撮影



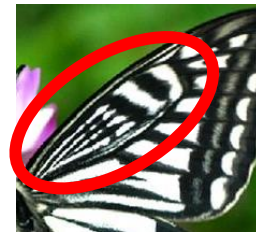
アゲハチョウ（ナミアゲハ） R3,4,22 撮影



昨年9月に撮影
キアゲハ（夏型）

アゲハチョウ科の仲間では体形はそっくりです。クロアゲハは名の通りに黒いので分かりやすいですが、清瀬には他にも黒系でカラスアゲハとアオスジアゲハがみられます。カラスアゲハは羽の表面が緑～青に美しく、見る角度によって色が変わって輝いて見えます。アオスジアゲハは、黒い羽にエメラルドのラインが目立ち、早い速度で飛び回りますのでわかりやすいです。

黄色いアゲハには、アゲハチョウ（名称をナミアゲハとする図鑑もある）とキアゲハがいます。幼虫は姿や食べる植物（アゲハチョウは、きんかんなどの柑橘類、キアゲハはアシタバなどセリ科）が違うのでよくわかりますが、成虫はすごく似ています。色は地域差やそれぞれ春型や夏型があり、全体の色や赤紋や青紋だけでは、区別が難しいです。一番確かなのは、前羽の表側（上側）の模様です。付け根に縞模様があればアゲハチョウ、なければキアゲハです。



アゲハチョウ



キアゲハ

●白と黄色のシロチョウ チョウ目シロチョウ科

モンシロチョウ



モンキチョウ



キタキチョウ
羽に「紋」がありません。

同じように羽に目立つ「紋（もん）：大きな点」がある白色と黄色の蝶です。色の違いで簡単に見分けられそうですが、モンキチョウは、季節や地域により色の濃さが違ったり、メスは白っぽいものも多く、見分けが付きにくいです。また、モンシロチョウに似ているスジグロシロチョウやモンキチョウなどもあります。主な生息環境（草地や林など）や食性を知っておくと、区別しやすいです。